

# 地域福祉に関する福祉関係団体アンケート集計表

対象者	調査時期	配布・回収方法	通知数	回収数	回収率
市内福祉関係団体	令和3年12月	郵送による発送・回収	45 通	25 通	55.5%

## 問1 実施している事業や取組みの分野は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
高齢者福祉	10	40%
障がい者福祉	11	44%
児童福祉	10	40%
教育	0	0%
保健・医療	0	0%
スポーツ・健康	2	8%
その他（まちづくり、国際交流等）	2	8%
無回答	0	0%

サンプル数=25

## 問2 貴団体の活動の目的・意義は何ですか（自由記述）

- ・高齢者の生きがいづくり
- ・市民のスポーツ実施率の向上。スポーツ活動、文化活動を通じた地域課題の解決
- ・ひとりひとりの個性を大切に明るく育てほしい。
- ・乳幼児が心身ともに健やかに育成されるための多様な福祉サービスが、その利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とした社会福祉事業。
- ・障害があっても自立に向けた活動を支援する事。市内のハードソフト面の改善に向けた取り組みを進める事。
- ・児童福祉施設を運営し、ひとり親・子育て及び学習支援をとおり、経済的困窮世帯に対し、サービス提供を行い生活の向上を目指します。
- ・聴覚障害者（ろう者）が安心した生活がおくれるように
- ・市内の障害者・児の方またその家族の方の生活に関するなんでも相談窓口となり、当事者の権利擁護、地域づくりなどに取り組みます。
- ・民生委員児童委員、地区団体。
- ・地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援すること。
- ・子どもの健全育成を図る活動。
- ・誰もが生活しやすい安全安心のまちづくりの実践。
- ・国外の諸都市及び在住外国人との積極的な市民交流等を行うことにより、市民の国際意識の高揚、自主的文化活動の促進及び文化的地域交流活動の推進を図り、もって国際親善並びに市民生

活の向上及び発展に寄与することを目的とする。

- ・戸田市、蕨市の「療育を必要とする児童（就学前中心）」に対して、通所しての支援、地域に向けた支援（発達相談、カンガルー通園、巡回相談、保育所等訪問支援など）を実施。

発達支援を軸に、家族支援、関係諸機関との連携（学校、幼稚園、保育園への移行支援など）を総合的に行うセンターとして役割を担う。）

- ・ノーマライゼーションの理念にもとづいた地域づくり

- ・地区民児協は任務の遂行と円滑な運営を図るとともに地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

- ・高齢者及び障害者に対し、介護及び自立支援とともに、自立して心豊かに安心して暮らすことのできる福祉に貢献することを目的とする。

- ・65歳以上の高齢者の相談窓口となっており、介護に関する相談・悩み以外にも、健康や福祉、医療や生活に関することなど、高齢者に関する様々な相談に対応し、適切なサービスや機関、各種制度の利用につなげていく。

- ・戸田市の高齢者福祉の向上を目指し、多様なニーズに対応できるよう介護保険サービス、戸田市の高齢者福祉サービス、その他の多様なサービス等を適切に組み合わせ、関係機関との連携を主導していく。

- ・多様化した文明の激流に飲み込まれることなく、人間のぬくもり、大切な心を置き忘れることなく、個々の力を発揮し、家庭に職場に地域社会に貢献できるよう生活臨床心理カウンセリングの観点から特に精神障害者の自立に向けて、地域と連携した活動をさらに拡大していきます。

- ・地域と交流を深め親しまれる施設を目指す。安心・安全・快適な生活を支援する。利用者の声・地域の声を真摯に受け止め満足度を追及する。「心配り、目配り、心配りに心がける。常に向上心を持ち物事に取り組む。」

### 問3 活動圏域を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

	回答	割合
下戸田地区（喜沢、喜沢南、中町、下戸田、下前、川岸1～2丁目）	3	12%
上戸田地区（本町、南町、戸田公園、川岸3丁目、上戸田、大字上戸田）	2	8%
新曽地区（大字新曽、新曽南、氷川町、大字下笹目）	4	16%
笹目地区（笹目北町、笹目南町、早瀬、笹目）	3	12%
美女木地区（美女木、美女木東、美女木北）	3	12%
市内全域	15	60%
その他（日本全国からの受入、対象地域は市内全域です。蕨市、事業によっては市外も、川口市、さいたま市の一部）	4	16%
無回答	0	0%

サンプル数=25

**問4 最近、地域で気になる課題がありますか。該当する項目に○をつけ、内容を具体的に書きください。**

項目	該当する項目について具体的に書きください。（自由記述）
<p>高齢・介護 （認知症、見守り）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、要介護者の居場所、活躍の場、見守り体制が不十分</li> <li>・地域包括ケアシステム、認知症取り組み等</li> <li>・コロナ禍でインフォーマルな活動場所が減少している</li> <li>・老老介護についての問題、ひとり暮らしのろう者が高齢化しており、近隣の手伝いが必要であるが、コミュニケーションが難しい。</li> <li>・キーパーソンの不在。（家族に障害があったり、本人の高齢化により、孫や甥、姪などがキーパーソン候補だが疎遠であったり。）</li> <li>・徘徊等に対するコミュニティ全体での見守りできるまちづくり。</li> <li>・ヤングケアラーの問題が顕在化している。</li> <li>・担当地区で高齢者の見守りは行っている。コロナの関係で声無しで。</li> <li>・コロナ禍による閉じこもり等の要因により、介護に関する相談が増えているが、介護に係る社会資源が乏しい。</li> <li>・認知症を患っている独居高齢者の方で支援してくれる家族がいない場合の通院や公共施設、金融機関への付き添い。</li> </ul> <p>認知症、身寄りのないひとり暮らしの相談が増えている。</p>
<p>障がい （身体・知的・精神）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者、その介護者の居場所、活躍の場、見守り体制が不十分</li> <li>・障害全般について</li> <li>・地域にある福祉事業所は他領域との交流機会が無い（当施設であれば、児童、障害等）</li> <li>・親亡き後、80/50 問題での相談は多い。医ケア児者の預り先がなく、親が孤軍奮闘している。</li> <li>・潜在している精神疾患患者への対応</li> <li>・軽度の知的障害の相談が増加。</li> <li>・ハードソフト両面でのサポートインフラの充実</li> <li>・グループホームや入所施設の不足。</li> <li>・暮らしやすい地域づくりが積極的に行われていない、当事者を含めない議論になっている。</li> <li>・障害者が高齢者になることによる制度移行の問題や、高齢者の家族が障害者で、介護が難しい等の相談が増えている。</li> <li>・高齢の親が障害者や引きこもりの子の世話をしている。精神障害のある子の受診の支援。</li> <li>・精神疾患で服薬が途絶えて生活に支障が出ている方が多い。障害者家族の高齢化。障害高齢者は情報提供を得るすべがむずかしい。</li> <li>・小さな社会（家族）の一員として、食事を一緒にする、皿洗又ト</li> </ul>

	<p>イレの使い方が分からない等、家庭生活のマナーが身につけていない。</p>
健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的施策の不十分を感じる</li> <li>・ボッチャ（スポーツ）</li> <li>・病院にひとりで行った際、通訳が設置されておらずコミュニケーションに困る。</li> <li>・キーパーソンの不在。（通院、治療の決定。入院時の保証人等）</li> <li>・人の免疫強化の推進、医療体制の強化（感染対策）</li> <li>・医療と福祉との連携が弱い（医療的ケア児者のためのネットワーク形成が課題）</li> <li>・障害を持つ人がコロナに感染した場合に、障害や家族の状況に配慮された医療を受けられるのか不安。</li> <li>・コロナ禍で退院時に在宅に戻る為の会議等の機会が減っている。</li> <li>・コロナ禍で外出の頻度が減り、人との交流が減ったことで、高齢者の心身機能が低下している。</li> </ul>
就労・経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的施策の不十分を感じる</li> <li>・母子家庭の就労の問題により、貧困が連鎖してしまっている現状がある。</li> <li>・経済格差。低所得者は生活保護受給者よりも厳しい生活をしている。</li> <li>・職住近隣、地域内経済の活性化</li> <li>・生活保護等の支援が必要な外国人がいること。</li> <li>・就労支援事業所（A型、B型）の不足</li> <li>・経済的に困窮している高齢者及び介護者の相談が増えている。</li> <li>・若年性認知症により離職した人の就労支援。認知症や障害により金銭管理が難しくなっている方への支援。</li> <li>・障害を抱えても働ける場所が増えたら良いと思う。</li> <li>・コロナの影響にて、失業者が増えていること。</li> </ul>
子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた子しか習い事ができない</li> <li>・気になる子供の増加</li> <li>・子育てをしながら、働く事、就職や定着が困難、就労の場の不足、核家族、単身家庭が多く、負担を感じている人が非常に多い。</li> <li>・若年の世帯で実家の支援がなく孤立している場合、他者の子育てを知らず、子育ての不安を相談できないでいる世帯があるのではないか。</li> <li>・聴覚障害児の子育てについての悩みをお互い話し合える場が欲しい。</li> <li>・子育て環境（産み育てやすいまちづくり）の整備</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三者面談などの学校からの説明の日本語がわからない外国人の保護者がいること。</li> <li>・外国籍の家庭と子育ての支援が課題</li> <li>・学童の不足、働きたいけどこどもを預けられない人がいる。</li> <li>・通学路の毎日声掛けを行っている。</li> <li>・子どもや子育て世代が介護を担っている世帯等の相談が出てきている。</li> <li>・子育てをしながら働く人達への支援。子ども中心とした官民協働の活動をしていきたい。</li> </ul>
青年 (自立・引きこもり)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てをしながら、働く事、就職や定着が困難、就労の場の不足、核家族、単身家庭が多く、負担を感じている人が非常に多い。</li> <li>・不登校の児童が増えている。</li> <li>・社会全体でのケア、サポート体制づくり</li> <li>・引きこもりの青年を支える機関や居場所作り少ない</li> <li>・8050 問題など、高齢者の家族が引きこもっているなどの問題を抱えているケースが増えている。</li> <li>・8050 問題を一緒に考えてくれる機関が不足している。</li> <li>・何人かの相談がくるが、その一件にかかわるためには、その家族協力と人手（スタッフの人件費）が必要。</li> </ul>
交通環境、買い物・通院環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動販売や配達など、高齢者でも利用しやすい買い物環境が足りない。院内での介助が必要な方への支援。</li> <li>・高齢者や障害を持った人達が外出し易い（歩きやすい）町作り。</li> <li>・圏域内に商店等少ない。買い物等に関しても、介護サービスだけでは対応しきれない状況がある。</li> <li>・トコバスのアクセスで一部不便な場所がある。</li> </ul>
防災・防犯・交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近ニュースになった犯罪があった。</li> <li>・小さい子どもたちが、交通事故に巻き込まれることの対策強化（高齢者の運転、スマホ運転など）</li> <li>・防災無線で夜高齢者の迷子が多いようである。</li> <li>・町会単位の防災対策では加入率もさがっている中、厳しいのでは。高齢者の自転車の乗り方の危険性や車いすでの外出がしにくい。</li> </ul>
ゴミ・住環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居高齢者のごみ捨ての問題</li> <li>・JR 高架下等のゴミの散乱（JR の自主性が問われる）</li> <li>・ゴミ収集場のネット等カラス除けが十分ではなく、道路に散落していることが多い</li> <li>・高齢者のごみ出しが難しいケースに対応できる地域資源が不足している。</li> <li>・ゴミ出しが難しくなっている高齢者が増えている。自宅内にゴミ</li> </ul>

	<p>が大量に散乱している家の支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人が住まう地域だと捨て方のルールが理解できずゴミが散乱しているのを見かける。高齢者のゴミ出しも困難である。</li> </ul>
人権・虐待・権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護への対応の仕組みが不十分</li> <li>・子どもいじめ問題（いじめられる、いじめる側双方のケアが必要）</li> <li>・障害を持つ人の権利、虐待防止についての啓発をもっと行ってほしい。虐待等があった際の緊急の受け入れ先を増やしてほしい。</li> <li>・認知症や障害により金銭管理が難しくなっている人への支援。</li> <li>・子の居ない高齢者世帯に対して制度や手続き等の知識と対策を立てられる支援が必要では。</li> <li>・家族に対するきめ細かい指導が必要、本気で対応するには、現場で対応できるスタッフのスキル、それに対する対価</li> </ul>
居場所・孤立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各支援制度や彩の国あんしんセーフティーネット事業などの周知が不足している（教育センター長も知らなかった）</li> <li>・コロナ禍での交流機会、活動場所が激減</li> <li>・町会や老人会に未加入の方が集える場所（誰でも参加できる場所）が少ない</li> <li>・社会全体での見守り、サポートが重要</li> <li>・高齢、障害等問わず、ふらっと立ち寄れる集いの場があると良い。</li> <li>・コロナ禍で孤立する高齢者が増えた。集いの場がどんどん再開してきているので、案内をする必要性を感じている。</li> <li>・コロナ禍で活動の場がなくなり、外出の頻度が減った。人との交流も少なくなった。</li> <li>・男性が集える場所が少ない。町会、老人会に加入せずに集える場所も必要。</li> </ul>
地域活動・ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども食堂や居場所づくりが盛んになってきたが、拠点間の連携作りが必要になってくるのではないかな。</li> <li>・コロナ禍での交流機会、活動場所が激減</li> <li>・身近なサロン等の場所がない。</li> <li>・青年層のボランティア活動参加の促進。</li> <li>・コロナ禍でイベントが開催やボランティアの受入ができない。</li> <li>・530運動に参加者多少増えているようです。</li> <li>・地域活動やボランティア活動の仕組みはあるが、使いづらい。地域にうまく浸透していない。</li> <li>・町会活動やボランティア活動が思うようにできなくなっている</li> <li>・ボランティアセンターの開始までの流れがスムーズにしたい。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響によりボランティアの受入もできなくなった。</li> </ul>
福祉に関する情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者差別解消法など</li> <li>・市民が地域での様々な課題を知る機会が少ないと感じる。（町会等の回覧板等には、防犯情報・学校お便り、公民館などの情報しか入っていないことが多い。）町会に加入していない人は、学校等が伝える努力をしないとまったく情報を知る機会が減ってしまうのではないか・・・？また、コミュニティに属さない高齢者や一人暮らしの若者に対しどのような方法で情報を届けるのかなどの考えなければならないと感じる。（福祉関係機関の連携が種別を超えて必要なのかもしれない…？）</li> <li>・他領域のことは殆どわからないこと。</li> <li>・市民への情報発信に偏りがある。</li> <li>・老若男女、多様性を重んじる地域福祉</li> <li>・当事者視点に立った市民向けの障害理解情報の工夫</li> <li>・必要な情報をうまく入手したり理解できない人もいる。分かりやすくきめ細やかな方法で伝える工夫をして欲しい。</li> <li>・介護保険や高齢者サービスについての情報が拡がらない。</li> </ul> <p>行政の中に福祉の専門家がない。（特に現場対応できない）</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の項目を横につなぐ連携、協働体制の充実</li> <li>・医療、保健、教育、福祉、保育等エッセンシャルワーカー間のネットワーク形成が課題。</li> <li>・支援が必要な高齢者が今後ますます増えていく中で、介護保険サービス以外の地域資源の活用が必須である。</li> </ul>

**問5 運営において困っていることや課題はありますか。**

(あてはまるものすべてに○)

	回答	割合
職員確保	12	48%
人材育成	15	60%
財政運営	11	44%
活動のPR	6	24%
地域（地域福祉推進組織、自治会、民生委員・児童委員協議会など）との連携	9	36%
行政や社会福祉協議会、他団体との連携	8	32%
特にない	1	4%
その他（コロナなかによる活動自粛、ボランティアの確保、高齢化）	2	8%
無回答	1	4%

**サンプル数=25**

**問6 団体の利用者、相談等に関する事例について教えてください。**

(1)最近、制度上のサービスでは解決できずに困っている問題・事例がありますか。

(自由記述)

- ・特になし。部活動の外部委託については、学校と様々な検討を行っている。
- ・育児疲れの訴え、子育て中でも仕事休みとれない、子ども病気でも休み、早退が困難。選ぼうとすれば仕事を失う、育児を手伝ってくれるパートナーや親が誰も居ない。(最近では常時あり。)
- ・高齢化に伴う、人材育成面、会員が増えない。
- ・核家族化が進む中での身元保証問題。医療同意は NG である成年後見制度、看取りまで行う特養では課題になることも多い。
- ・医ケア、難病のお子さんをもつ親からの相談が連続。いずれも受け入れ先、預け先がなく、母の職場復帰の妨げになっています。母の就労、レスパイト、そして本人の居場所、社会とのつながりのために、事業所探しをしましたがなく、未だに解決していません。
- ・地域包括ケアシステムが構築されておらず、チームケア機能が不十分。  
町会単位のものはあるが、地域に活動の場やインフォーマルサービスが少なく、何でも介護保険での対応となっている。”
- ・特にありません。
- ・市内在住の卒園児が登校する学校（都内）で、不登校となり、保護者が困っている。市内、相談事業所と連携をとっているものの県外であること、対象年齢が支援対象外であるため、どの制度や支援（サービス）を使ってサポートしていけば良いか困っている。
- ・高齢の親御さんと暮らす全介助、必要な障害のある方について、グループホームやショートステイを勧めるも「コロナが心配」と決断できない。  
通院等に支援が必要なのに、本人の気分で通院の予定がコロコロ変わるため、ヘルパーさんを通院に利用することが難しい。
- ・コロナ禍で訪問介護の職員が減ったこともあり、特に生活援助中心の介護保険サービスでなかなか



か利用に繋がられない状況が続いている。認知症等により、金銭管理をどうしたらよいか悩んでいる。ご家族の関わりが望めない方の受診時の院内介助について悩んでいる。

- ・ 認知症を患っている独居の男性について、支援してくれる親族などがいないため、失業給付の手続きでハローワークに同行して支援した。近隣ではなかったため、長時間付き添いが必要だった。親族などのいない認知症高齢者の受診同行について、病院側は支援者に付き添いを要求する。また、本人も不安が強いため付き添いを強く要求してきた。毎回長時間の受診の付き添いとなり業務に支障が出てしまう。

- ・ あんしんサポートねっとの利用。

- ・ 思春期の男の子の性教育と、家族の考え方、認識が幼い。制度上のサービスはいろいろ出てきているが、それを理解し、利用する側も利用させる側も勉強不足に思う。

- ・ 発達支援を全体性をもって支援していくこと。各園の努力で運営している部分や、発達の専門的なチームとの連携。

## **（２）（１）で書かれた問題・事例に対して、解決に向けたご提案がありましたらお書きください。（自由記述）**

- ・ 家庭支援があり、保育所事業の一環であるとは言え、それらを十分担うだけの公定価格になっていない。人員数も増やし、専門的ケアが出来るだけの事業費や子育て世帯特に母親の働き方、子育て両立ができるように企業支援が必要だと感じる。

- ・ 市内団体の PR をどのように進めていくべきか。

市内団体との連携強化、活用は進めていただきたい。

- ・ 保育園への看護師配置（児童発達、放デイも）

- ・ 有償ボランティアや誰でも参加できる（町会単位ではない）サロンなど、地域のインフォーマルサービスを増やす。地域包括ケアシステムで一体的に提供されるべき、医療や介護、住まい、生活支援・介護予防がまだ上手く連携できていないように感じています。連携できる仕組み作りが必要だと思います。

- ・ 学校の支援コーディネーターと連絡をとり、学校での支援経過をていねいに把握する。

- ・ ゴミ出しや買い物・受診介助等については、介護保険外でボランティア等のサービスの利用を考慮していきたい。あんしんサポートや成年後見制度についての利用を促進していきたい。いずれにしろ、相談支援の際に、介護保険で位置づけられるサービス以外のインフォーマルなサービスの利用を念頭に置いて支援していく必要がある。

- ・ 同居家族や支援してくれる親族などがいない人、認知症などで判断能力に不安のある人への病院や公共施設、金融機関などへの付き添いサービス（有料含む）。

- ・ 受け入れ条件の明確化と共通理解

- ・ 発達支援訪問事業に対して、依頼があったら行くのではなく、各園の発達支援で困っていることも、悩んでいることを包括的に支援するような枠組み（チーム編成）

**問7 行政や他の組織・団体と現在、連携をしているもしくは将来、連携を強めたい  
と思っていますか。また連携することでどのような効果を期待しますか。**

連携意向 (いずれか一つ)	現在	将来
	1. 行っている 2. 行っていない	1. 連携を強めたい 2. 必要性を感じない 3. わからない

		回答1	割合	回答2	割合	回答3	割合	無回答	割合
市役所	現在	22	88%	1	4%			2	8%
	将来	20	80%	0	0%	0	0%	5	20%
社協	現在	19	76%	4	16%			2	8%
	将来	18	72%	0	0%	3	12%	4	16%
福祉事業者	現在	18	72%	5	20%			2	8%
	将来	20	80%	0	0%	1	4%	4	16%
保育園	現在	9	36%	14	56%			2	8%
	将来	16	64%	2	8%	6	24%	1	4%
小学校	現在	13	52%	10	40%			2	8%
	将来	19	76%	1	4%	2	8%	3	12%
高校	現在	11	44%	11	44%			3	12%
	将来	17	68%	1	4%	3	12%	4	16%
町会	現在	14	56%	10	40%			1	4%
	将来	22	88%	0	0%	1	4%	2	8%
他の団体	現在	14	56%	8	32%			3	12%
	将来	19	76%	0	0%	2	8%	4	16%
企業	現在	9	36%	13	52%			3	12%
	将来	17	68%	1	4%	4	16%	3	12%

		連携意向	自由記述欄
市役所	現在		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の拡大や他団体の調整役</li> <li>・出前講座</li> <li>・保育士不足解消のため各種確保施策を進めている。国の公定価格等の見直しを行ってほしい。</li> <li>・オレンジカフェ、認知症ケア相談室を始めとし、今後も官民連携に努めていきたい。</li> <li>・委託を受けている</li> <li>・市と協会の協定に基づき、連携を行っている。</li> <li>・他の児童分野の事業所（児童発達支援事業所）との連携の機会作り。</li> </ul>
	将来		

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の施策等における良好な連携体制。</li> </ul> <p>協力して地域包括ケアシステムを構築していきたい。</p> <p>協力して迅速にさまざまな相談に対応していきたい。</p> <p>地域づくりについて目指すところを具体的に明確化してほしい⇒包括での取組み等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・官民連携を保育所にまで落とし込んでほしい。</li> <li>・協力をして様々な相談等の対応をしていきたい。</li> </ul>
社会福祉協議会	現在		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の拡大や他団体の調整役</li> </ul>
	将来		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの周知 PR</li> <li>・社協を通して社会人ボランティアの参加がある。</li> <li>・コロナ禍で中止しているサロン活動等、時期を見て再開していきたい。</li> <li>・地域づくり</li> <li>・社協のボランティアセミナーの講師など依頼に応じて、連携を行っている。</li> <li>・ボランティア育成</li> <li>・インフォーマルサービスに繋げる際の情報提供や良好な連携体制。</li> <li>・協力して地域住民や関係機関との連携を強化していきたい。</li> <li>・1 包括では対応しきれない地域づくりの協力を求めたい。</li> <li>・発達支援の側面からのアプローチ。</li> <li>・協力して地域住民や関係機関との連携を強化していきたい。</li> </ul>
福祉事業者 (介護サービス事業者、高齢者等施設、NPO 団体等)	現在		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の拡大や他団体の調整役</li> </ul>
	将来		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互事業の活性化、行事の交流や日常の触れ合い交流が出来るが良い。</li> <li>・シルバー人材センター会員の方々の行事参加をいただいている。無理のない範囲で今後も継続していきたい。</li> <li>・同業（市内特養）のみ連携、継続、他領域との協働も地域包括ケアシステムには重要なのでは。</li> <li>・地域づくり</li> <li>・幅広い分野の事業者と連携することができれば、地域福祉に関する新たな試みができるのではなか。</li> <li>・ライフステージを見通したきりめのない支援の実現。</li> <li>・サービスの効率的な利用に資する良好な連携体制。</li> </ul>

			<p>連携を強化することで、必要な人に迅速に介護や福祉サービスが提供できる環境を作りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等施設との関わりや地域のレガシーを活用していきたい。</li> <li>・連携を強化することで、必要な人に迅速に介護や福祉サービスが提供できる環境を作りたい。</li> </ul>
保育園・幼稚園	現在		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の拡大や他団体の調整役</li> <li>・保育の質向上、運営の改善。</li> <li>・数年前は他園と交流していたが、感染症の問題で途絶えている。</li> <li>・コロナ禍により中止、時期を見て再開したい。</li> <li>・市の保育幼稚園課から文書の翻訳依頼あり。</li> </ul> <p>巡回相談、保育所等訪問支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座等の開催</li> <li>・世代間交流。高齢者と関わる機会を設けて欲しい。</li> <li>・公開保育などを通じて、保育の質を高めていく。</li> </ul>
	将来		
小・中学校	現在		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の拡大や他団体の調整役</li> <li>・形式ばらず、日常的に児童と園児が交流できると良い。児童の円滑な就学に繋がる。</li> <li>・小学校との交流や連携が少ない。年間を通じて交流機会をふやしていければと考える。</li> <li>・中学校3days（現在中止）</li> <li>・小学生に認知症サポーター養成講座を行いたい。</li> <li>・学校及び市教委の学務課から、生徒及び保護者への通訳の依頼あり。</li> <li>・就学支援の充実、保育所等訪問支援の充実</li> <li>・認知症サポーター養成講座等の開催</li> <li>・地域包括支援センターを周知していきたい。認知症サポーター養成講座の開催</li> <li>・世代間交流。高齢者と関わる機会を設けて欲しい。</li> <li>・小学校接続をより密にしていきたい。</li> </ul>
	将来		
高校・大学・専門学校等	現在		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の拡大や他団体の調整役</li> <li>・形式ばらず、日常的に児童と園児が交流できると良い。児童の円滑な就学に繋がる。</li> <li>・少子化、核家族化で乳幼児とのかかわりが少ない。保育園で乳幼児と一緒に遊ぶ機会を創設できればと思う。</li> <li>・高校：戸田翔陽高校福祉課との絵手紙交流。大学、</li> </ul>
	将来		

			<p>専門：実習（現在中止）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の高校から、生徒及び保護者への通訳の依頼あり。</li> <li>・就学支援</li> <li>・認知症サポーター養成講座等の開催</li> </ul> <p>地域包括支援センターを周知していきたい。認知症サポーター養成講座の開催</p> <p>世代間交流。高齢者と関わる機会を設けて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生だけでなく、高校生なども保育の仕事にふれられるような仕組み。</li> </ul>
町会・自治会	現在		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の拡大や他団体の調整役</li> <li>・形式問わず、日常的に児童と園児が交流できると良い。児童の円滑な就学に繋がる。</li> <li>・ゆうわ祭り（1回／年）のご招待（現在中止）</li> <li>・地域づくり</li> <li>・認知症の方の個別ケア会議等に地域の方も参加してほしい。</li> <li>・多言語版町会、自治会加入促進リーフレットの翻訳依頼など</li> <li>・支援場所としての認知</li> <li>・地域の高齢者の見守り、相談等を含めた顔の見える関係の構築と信頼関係の構築。</li> <li>・地域ケア会議へ積極的に参加して、地域の課題を一緒に考えていきたい。</li> <li>・地域で必要な資源を一緒に考えて協力してほしい。</li> <li>・町会合同でのイベントや避難訓練など子ども達をより地域に繋げていきたい。</li> </ul>
	将来		
他のボランティア団体	現在		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の拡大や他団体の調整役</li> <li>・形式問わず、日常的に児童と園児が交流できると良い。児童の円滑な就学に繋がる。</li> <li>・読み聞かせのグループによる絵本等の読み聞かせをしていただいた。感染症が収束したら再開することになっている。</li> <li>・サロン活動、傾聴、他利用者余暇活動</li> <li>・地域づくり</li> <li>・サロン等の担い手になってほしい。</li> <li>・児童発達支援センターの理解と協力</li> <li>・インフォーマルサービスに繋げる際の情報提供や連</li> </ul>
	将来		

			携。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険では対応できない支援を依頼できるようにしたい。</li> <li>・支援する人、される人の垣根が少なくなるように互助共助の推進を希望。</li> </ul>
企業	現在		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の拡大や他団体の調整役</li> <li>・行事、スポーツ面で参加をいただいている。地域、団体等との交流機会を増やしたい。</li> <li>・特に無し</li> <li>・認知症施策など、啓発や対応など一緒に取り組みたい。</li> <li>・外国人従業員の当協会日本語教室への参加</li> <li>・児童発達支援センターの理解と協力（イオンのレシートキャンペーン登録）</li> <li>・協力して行えることの模索</li> <li>・地域包括支援センターの周知、認知症サポーター養成講座を開催していきたい。</li> <li>・新しいアイデアや発想で地域づくりを協力してほしい。</li> <li>・企業のノウハウをぜひ子ども達に伝えて欲しい。（料理、プログラミング、製本、様々な技術など。）</li> </ul>
	将来		

**問8 行政や他の組織・団体と連携を強めていく上で、支障となりそうなことはありますか。（あてはまるものすべてに○）**

	回答	割合
メンバー・スタッフの協力が得られるか	9	36%
連携したい団体等があるか	3	12%
アプローチ方法がわからない	7	28%
どのような連携ができるか	11	44%
漠然と不安がある	2	8%
特にない	4	16%
その他（対価、お互いの業務負担が増える心配あり、通訳翻訳ボランティアなどの協力、個人情報の公開の問題）	3	12%
無回答	1	4%

**サンプル数=25**

**問9 地域や生活の困りごとについて、耳にすることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）**

	回答	割合
こども、子育てに関すること	12	48%
障がいに関すること（身体・知的・精神等）	14	56%
高齢、介護に関すること（認知症・見守り等）	13	52%
人権、家庭内暴力に関すること	10	40%
健康、医療に関すること	14	56%
就労、経済的な事項に関すること	13	52%
防災、防犯、交通安全に関すること	8	32%
福祉に関する情報提供に関すること	13	52%
その他（具体的に： ）	0	0%
無回答	0	0%

**サンプル数=25**

**問10 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。（1つに○）**

	回答	割合
自分たちの生活に関わることから、できるだけ住民同士で協力して解決したい	0	0%
地域のことに熱心な人達が考えてくれるので、その人達に任せておきたい	0	0%
住民と行政の協働で解決したい	22	88%
行政に解決してもらえるように要求したい	1	4%
その他（問題の内容によるので一概に1～4を選ぶことは困難です。住民・行政のみならず、企業やNPO法人など社会全体で解決したい）	2	8%
無回答	1	4%

**サンプル数=25**

**問11 いわゆる「8050 問題※」など、一つの相談支援機関だけでは解決できない人や制度の狭間にある人を支援につなげるためには、どのような仕組みづくりが必要だと思いますか（〇は3つまで）**

※8050 問題とは、高齢の親が長期間ひきこもる子どもと一緒に暮らし（80 歳代の親と 50 歳代の子の親）生活面、経済面を含め支援している状態のこと。家族や本人の病気、社会的孤立等、複数の課題が背景にあると言われています。

	回答	割合
地域コミュニティの育成と支援	9	36%
どのような相談もまるごと受け止める体制の整備	14	56%
支援を必要としている人の早期把握	16	64%
福祉に関する相談窓口の周知	2	8%
相談支援機関と地域住民、地域の関係者（民生委員や児童委員等）との連携	14	56%
多様な活動団体、ボランティア等が協働で支援する仕組み	10	40%
相談支援機関や地域福祉活動の担い手を対象とした研修会の開催	3	12%
その他（ ）	1	4%
無回答	0	0%

**サンプル数=25**

**問12 お住いの地域で、日常生活を送るうえで心配な方や、困っている方がいたら、貴団体としてできることは何ですか。（あてはまるものすべてに〇）**

	回答	割合
見守りや声かけ	16	64%
話し相手	5	20%
日常生活上の手伝い（電球の交換、買い物、ゴミ出し、通院等）	2	8%
草取りや庭の掃除	2	8%
食事作りやおすそわけ	0	0%
学校や保育園、通所施設の送り迎え	0	0%
短時間の子どもの預かり	3	12%
災害など緊急時の手助け（安否確認、避難所への誘導など）	8	32%
その他（制度紹介や相談、相談・サービスや関係機関の紹介、必要な支援につなぐ、住環境の改善・向上の相談、周知が必要な情報の翻訳など、相談及び適切な支援につなぐお手伝い、必要なサービスの調整、相談支援、病院受診等の送迎）	9	36%
特にない（ ）	1	4%
無回答	0	0%

**サンプル数=25**



**問13 子どもからお年寄りまで、誰もが住みやすいまちづくりを推進していくにあたり、行政や社会福祉協議会ではどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（〇は3つまで）**

	回答	割合
福祉に対する意識の向上	5	20%
情報発信の工夫	4	16%
地域福祉活動の担い手の確保	9	36%
顔の見える関係づくり	8	32%
地域福祉活動の支援	6	24%
地域の様々な活動主体のネットワークづくり	10	40%
困りごとを抱えた人が適切な支援につながる体制づくり	15	60%
誰もが安心できる環境の充実	3	12%
地域の防災力の強化	2	8%
権利擁護の推進	2	8%
地域生活課題の複合化・複雑化への対応	3	12%
社会的孤立、制度の狭間の問題への対応	9	36%
無回答	0	0%

**サンプル数=25**

**問14 地域福祉を進める上で、次の団体などに貴団体が協力できそうなことがありますら、活動の種類をア～カより選び、具体的な内容をご記入ください。**  
**（書ける欄のみに記載していただければ結構です）**

「種類」欄は下記のア～カより選んでください。

ア. 福祉サービスに関すること

エ. 人材育成

イ. 市民の活動支援

オ. 防災

ウ. ネットワークづくり

カ. その他

		回答ア	回答イ	回答ウ	回答エ	回答オ	回答カ	無回答
市役所	協力	8	2	3	0	2	2	14
	協力割合	26%	6%	10%	0%	6%	6%	45%
	ハードル	2	0	1	2	1	2	23
	ハードル割合	6%	0%	3%	6%	3%	6%	74%
社協	協力	7	1	7	0	1	4	11
	協力割合	23%	3%	23%	0%	3%	13%	35%
	ハードル	2	0	1	3	0	4	21
	ハードル割合	6%	0%	3%	10%	0%	13%	68%
福祉事業者	協力	7	1	4	1	1	4	13
	協力割合	23%	3%	13%	3%	3%	13%	42%
	ハードル	1	0	3	3	0	3	21
	ハードル割合	3%	0%	10%	10%	0%	10%	68%
ボラ団体	協力	5	4	4	0	1	5	12
	協力割合	16%	13%	13%	0%	3%	16%	39%
	ハードル	1	1	3	3	0	3	20
	ハードル割合	3%	3%	10%	10%	0%	10%	65%
企業	協力	5	1	4	0	1	6	14
	協力割合	16%	3%	13%	0%	3%	19%	45%
	ハードル	2	0	1	2	0	3	23
	ハードル割合	6%	0%	3%	6%	0%	10%	74%
地域住民	協力	6	4	4	0	2	4	11
	協力割合	19%	13%	13%	0%	6%	13%	35%
	ハードル	1	1	1	2	0	4	22
	ハードル割合	3%	3%	3%	6%	0%	13%	71%

	項目（複数回答）	種類	具体的な内容
市役所	協力できそうなこと		イベントの実施、小中学校への派遣など、委託事業関係、聴覚障害者についての講演や話し、連携して事業を進める、ミニ防災倉庫の設置管理、誰もが歩きやすい街づくり、支援対象（就学前児童中心）の拡大の検討、ニーズに対応するサービスの提供、施策の実行に係る連携等、元気体操その他の活動の支援。地域ケア会議の開催や各種関係機関との会議の開催、出席。介護・障害福祉サービスでの相談や受入を行う。
	実現に向けてハードルになること		対価 現状なし 人材不足 予算確保（活動費の継続費用）の問題 教育との連携 現場の実態をあまりにも知らなすぎる。
社会福祉協議会	協力できそうなこと		イベントの実施 小中学校への派遣など 社会人ボランティア希望者の受入 地域支援 聴覚障害者についての講演や話し 障害福祉サービス等、生涯に関わる勉強会 連携して事業を進める。 福祉等に関する情報の多言語への翻訳。・通訳が必要な外国人福祉サービスへの通訳の派遣。 ボランティアの育成 ボランティア等の社会資源の利用に係る調整等の連携 圏域内の町会などとのネットワーク構築への協力 こころの健康サロン。ピアカウンセリング。健康体操。カフェ授産品販売。カウンセリング

			圏域内の町会や事業所等のネットワーク構築への協力。
	実現に向けてハードルになること		<p>対価、人材不足</p> <p>まず組織、民生委員、ボランティア団体との顔合わせからだと思う。</p> <p>通訳ボランティアまたは職員が通訳、派遣依頼時に都合がつくか。・医療など専門的な分野の通訳は難しい。</p> <p>新型コロナの影響で施設体験が困難なこと</p> <p>社会資源の利用に繋げていく情報の共有化</p> <p>スタッフの確保</p>
福祉関係事業者	協力できそうなこと		<p>イベントの実施</p> <p>小中学校への派遣など</p> <p>ひとり親家庭支援・愛の国あんしんセーフティ事業・子どもの貧困対策・学習支援他</p> <p>認知症サポーター養成等、各種市民活動支援講座、事業所と市民のネットワーキング及び活動支援</p> <p>聴覚障害者についての講演や話し</p> <p>事業所の枠をこえた、研修会等の実施、事業所、従事者の交流を図る。</p> <p>研修の協働開催</p> <p>様々な情報の共有や相談および支援</p> <p>介護保険情報などの情報発信や啓発活動</p> <p>複数事業所での子育てに関するイベント</p>
	実現に向けてハードルになること		<p>対価</p> <p>感染流行。（＝対策要検討）</p> <p>人材不足</p> <p>皆さん多忙で参加希望が出来るのかどうか</p> <p>児童発達支援事業所とのネットワークづくり</p> <p>ネットワーク構築と予算</p>

ボランティア団体	協力できそうなこと	<p>イベントの実施</p> <p>どちらかというと受入協力</p> <p>学習支援・寄付・イベントへの協力他</p> <p>聴覚障害者についての講演や話し</p> <p>障害理解、障害者の関わりなどについて</p> <p>ボランティアさんへの不安や疑問に答える。</p> <p>サロンなどの企画を一緒に進めたい。</p> <p>活動場所としての協力</p> <p>ボランティアの利用に係る連携の強化</p> <p>サロン活動など市民とのマッチングへの協力。</p> <p>地域で活動したい方たちへの声かけや</p> <p>ボランティア団体の紹介</p> <p>ボランティアの受入</p> <p>ボランティア団体の受入をし利用者及び地域の方との交流の場を作る。</p>
	実現に向けてハードルになること	<p>対価</p> <p>人材不足</p> <p>ボランティアさんとのつながりがないので、顔合わせなどから。</p> <p>新型コロナの影響で施設体験に制約がある</p> <p>ボランティア団体と直接連携を取ることが出来るネットワークがない。</p> <p>地域エリア内で担当になるため、エリアを越えての声かけができない。</p> <p>新しい人材の育成が少ない、ボランティアをする人の数が少ない。</p>
事業者 地域の一般企業・	協力できそうなこと	<p>イベントの実施</p> <p>企業の地域の貢献活動への受入協力</p> <p>貧困対策や寄付関係</p> <p>聴覚障害者についての講演や話し</p> <p>認知症サポーター養成講座や相談先として活用してほしい。イベント等の協力</p> <p>イベントの開催等の協力。</p> <p>認知症サポーター養成講座や出前講座などの開催、啓発活動</p>

			<p>授産製品の販売</p> <p>コラボすることで企業の認知度やブランディングに力を貸せるのでは？</p> <p>病院受診や買い物等の送迎を行う。（福祉有償運送）</p>
	実現に向けてハードルになること		<p>対価</p> <p>当法人の存在、活動等の周知</p> <p>人材不足</p> <p>コンビニやドラッグストア等にも協力依頼などを行うことがあるが、窓口が分からずスムーズに進まない。</p> <p>公共性の確保</p> <p>内容をどうするか？ネットワーク構築の難しさ。</p>
地域住民	協力できそうなこと		<p>イベントの実施</p> <p>災害時一時避難所</p> <p>行事や防災訓練などでの交流</p> <p>聴覚障害者についての講演や話し</p> <p>障害福祉サービス等、障害に関わる制度の講座。</p> <p>住環境に関わる困りごとの相談、アドバイス</p> <p>行事やイベントでの交流</p> <p>住民主体の活動の支援</p> <p>介護保険など公的サービスに関する説明、啓発。元気体操やサロン活動への支援</p>
	実現に向けてハードルになること		<p>対価</p> <p>人手、物質、環境の未充足</p> <p>感染症の流行時には、交流が困難</p> <p>人材不足</p> <p>まずは基幹相談との周知からだと思う。</p> <p>相談窓口の設置</p>

**問15 地域福祉推進についてご意見・ご要望等、ご自由にお書きください。**

- ・アンケートを web にして欲しい。
- ・各々組織、団体が地域の中で、地域社会の担い手として大変な役割を果たしているところ。公的責任が薄くなってきている。人材不足、財政不足、多様化ニーズに答え、処遇低下など、各団体は自分の組織運営だけでめいばいが現状なのではないか。その中でも必要である連携、協働を図っているつもりであり、もう少し行政等が連携や共生の土台づくりとして、財政や組織固めをパイプ役となるものの構築が必要と感じる。財政措置や支援のないまま、連携や共生の強制や義務付けだけはやめてほしい。
- ・複数団体との連携により、市民等を対象とした研修や学習会の実施。
- ・地域とのつながりが希薄になっています。地域に暮らす人々と地域の社会的施設との無理のない出会い、ふれあい及び交流の創出が大切かと考えます。感染症への心配もありますが、人と人とのつながりが地域にセーフティネットとして生きている大切さを感じております。
- ・児童福祉施設を運営し、ひとり親・子育て及び学習支援を通し、経済的困窮世帯に対し、サービス提供を行い生活の向上を目指します。
- ・日頃から大変お世話になっております。10月1日～基幹相談センター開所後、飯田CSWからたくさんのことを学ばせて頂き、地域課題を認識しているところです。一緒に取り組んでいきたい、これからもよろしくお願い致します。
- ・地域福祉に関わる人たちを増やすこと、多様な主体のネットワークづくり、これまでにない観点からの地域福祉の推進も必要のように感じられます。
- ・障害児・者に対する正しい理解、及び、支援施設の事業内容の認知など昔と比較すると前進しているものの、まだ不十分であると思う。当事者、及び当事者を抱える家族、支援施設が積極的に地域活動に参加する機会、地域住民との交流、当事者なりの表現（文化）活動の場が少しずつ増えて行くと良いと思う。
- ・多様な機関が顔の見える関係性で連携ができるよう、社協さんがそのパイプ役を担っていただけるととても良いと思います。
- ・高齢者人口の増加等、様々な要因により、介護保険サービスに基づいた既存のサービスでは地域を支えることは難しくなっている。また、アンケートの中にもあったように「8050問題」など、多数の問題を総合的に支援していく必要性が出てきている。地域福祉を推進していくには、住民や民間企業の力等の地域資源をうまく活用していく仕組みを構築し、様々な問題に対応していく必要性を強く感じている。生活支援コーディネーターが、各地域包括支援センターの圏域ごとについて下されば、地域福祉の推進がより一層できると思います。
- ・コロナ禍により地域における助け合いや支え合い、地域活動がおこないづらくなってしまっている。すぐに今の状況が変わるわけではないと思うので、実情に併せて、安心して協力ができる体制を考えながら地域福祉活動を広げて欲しい。
- ・地域ケア会議で出ている困りごとの解決がすすまない。
- ・各包括から地域ケア会議の課題を毎回あげているも行政内で検討されていないと感じる。

ご回答ありがとうございました。